

## 挨拶は大切、感謝も大切！

進学・進級から1ヶ月が過ぎようとしています。毎朝、北門で登校指導を行いながら、生徒の様子を見守っていますが、元気に挨拶をしてくれる生徒、声小さめに挨拶をしてくれる生徒・・・みんな、挨拶を返してくれます。また、私から挨拶をしなくても、生徒の方から挨拶をしてくれる人もいます。特にそのような人は、心地良い瞬間を私に与えてくれます。生徒たちにも、その心地良い瞬間を味わってもらうために、生徒よりも早く挨拶をしようと、私も心がけていきたいと思っています。ご家庭でも、「挨拶」の良さを話していただき、自分自身も家族も、友達も気持ち良く過ごせる環境を「挨拶」でつくってほしいと思います。



(朝の挨拶運動の様子)

また、給食開始から1ヶ月が過ぎようとしています。一つ、当たり前前の学校生活を行えるようになりました。これから復興が進む中で、一つ一つ当たり前前の生活が戻ってくると思いますが、熊本地震を経験した私たちは、その経験から得られたものを、次の世代につなげていかなければならないと思います。その一つは「感謝」という気持ちだと思います。温かい給食が当たり前になった今こそ、給食を作ってくれた方、食材を作ってくれている方、給食を運んでいただいている方、食材そのもの等、全てに感謝をして温かい給食を食べてほしいと思います。ご家庭でも、「感謝」について話をいただければと思います。



(給食の様子)

## 4月14日は木山中「命と防災の日」でした！

熊本地震1周年を迎え、熊本地震を振り返り、次への目標を持たせることで、今後の生活への意欲を高めさせたいと、4月14日に「1周年式典」を行いました。2時間目の学級での活動では、「綴る活動」を行いました。熊本地震の経験を、次の世代につなげるためにも大切な活動になったと思います。

### 1年生の「綴り」より

- 地震が起きて、避難した後に思ったことは、友達は大丈夫かなと思いました。そして、学校に久しぶりに来たとき、すごくうれしい気持ち、楽しい気持ちがあふれてきました。これからは地震が起きても、冷静に行動して、友達を大切にしていきたいと思います。
- 地震では、より多くのことを学べて、避難所でより多くの友達、仲間と協力していけたと思います。今後、この経験を生かし生活をしていけたらなあと思いました。みんなに、家族、友達の大切さを伝えていければと思いました。
- とてもきつかった1年間でした。友達と助けたり助けられたりして、過ごしてきました。これからも皆で助け合ったりしていきたいです。これから、災害があったときでも、優しく声をかけたり、絶対優しくしていきたいです。

熊本地震に対する思いは生徒一人一人違います。時には悩んだり、心が不安定になったりすることがあるかもしれません。木山中学校には、スクールカウンセラーが配置されていますので、活用していただければと思います。詳しくは学級担任または、養護教諭までご連絡ください。

お子様の「サイン」を見逃さないようにお願いいたします。

## 家庭訪問ありがとうございました

お忙しい中、家庭訪問の時間をありがとうございました。多感な中学生時代ということで、学校生活での学習や友人関係について、将来についてなど話題になったのではないのでしょうか。短時間でありましたが、学校と家庭との協力関係が一つできたことをうれしく思います。これを機会に、気軽に学級担任にご相談していただければと思います。お子様の健全育成に向け、また、「日本一通いたくなる学校」づくりに職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

## ノーチャイムで「自ら動ける」すばらしさ

木山中学校は、ノーチャイムで学校生活を送っています。自分で時間を見て、自分で動くというすばらしい力をつけてくれています。中学生に対して、私はよく「自ら〇〇しよう」という言葉を使ってきました。「自ら動ける」木山中生徒の姿に感動しています。



